

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌琴似工業高等学校長 川村 広幸



次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

【定時制】

1 学習指導

- (1) 実践的・体験的な学習活動をとおして、必要な資質能力の育成に向けた授業の工夫改善に努める。
- (2) 問題を解く力、問題に取り組む力、問題を読み解く力を養う。
- (3) 授業規律の確立に努め、学ぶ意欲のもてる教育課程の編成に努める。

2 生徒指導

- (1) 個別指導や集団指導をとおして、基本的生活習慣の育成に努める。
- (2) 暴力やいじめを許さず、命と人格を大切にす姿勢を育成する。
- (3) 運転者会や講話等、あらゆる機会をとらえて、交通安全指導の徹底を図る。

3 進路指導

- (1) 進路説明会や進路ガイダンスを積極的に推し進め、生徒の進路意識の高揚を図る。
- (2) 学年や学科との連携を図り、面接指導を主とした試験対策の充実に努める。
- (3) 積極的に職場開拓を行い、本校定時制のPRに努める。

4 健康・安全指導

- (1) 心身の健康を自ら育むことのできる生徒を育成する。
- (2) 学校管理下の事故防止に向け、適切な安全管理や安全教育に努める。
- (3) 個に応じた支援体制の充実等、相談しやすい環境づくりに努める。
- (4) 生徒の学習、生活上の抱える困難に着目したよりきめ細かい指導や必要な支援（通級指導を含む）に努める。

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校運営	・教職員のチームワークが不足がちである。係間の連携をさらに密に図ることが重要。	・課題は直ぐに取り組むべきもの、時間を要するものに仕分け、特に時間を要するものについては早めに情報を整理して準備し、取り組むことが必要。
改善方策	職員研修でのワークショップ等とおして、風通しの良い職場づくりを行う。	
関係機関との連携	・外部連携は効果的に図られているが、学年や学科による差が見られる。	・特筆事項無し
改善方策	4ヶ年を見通した計画を立案し、実施する。	
学習活動	・学んでいる内容が実社会でどのように活かされるのかを、専門科目だけではなく、普通科目においても実感できることが必要。	・企業でも昔ながらの技術職がない。事象に対して、「どうなっているのか」「どうやればいいのか」を考えることができない。職人を育成するような「生きた技術」を学ばせてほしい。
改善方策	「社会でどう役立つか」を意識した授業展開を推奨し、授業改善を行う。	
生徒指導	・「何を指導すべきか」は分かっているが、細かな対応に若干の食い違いが見られる。	・様々な悩みに取り組む姿勢は素晴らしい。色々な要素があるので、アンケート結果を活用して欲しい。
改善方策	「申し合わせ事項」による指導のすり合わせを行い、足並みを揃えた指導を行う。	
進路指導	・外部講師による講話や工場見学など、実施できた学年とできなかった学年があった。	・もし離職する場合には、直接上司に話、今後の人生で同じことを繰り返さないためのアドバイスを貰える関係性を築けるよう、指導して欲しい。 ・大手だけではなく、「どこでも通用する人材」を育てて欲しい。
改善方策	4ヶ年を見通した進路指導計画を立案し、実施する。	
公表方法	HPに掲載する。	

3 添付資料

- (1) 学校評価アンケート(まとめ)教職員
- (2) 学校評価アンケート(まとめ)生徒
- (3) 学校評価アンケート(まとめ)保護者